

# 平成29年度環境情報開示基盤整備事業 ～ESG対話プラットフォーム～

---

平成28年度事例集

NECキャピタルソリューション株式会社 様



富国生命投資顧問株式会社 様

# ご担当者

## NECキャピタルソリューション株式会社

- コミュニケーション部（IR担当）
- アシスタントマネージャー
- 山下 理恵（やました りえ）様



## 富国生命投資顧問株式会社

- 株式運用部
- 株式運用部次長
- 横田 洋一（よこた よういち）様



# 事業参加の動機

## NECキャピタルソリューション株式会社

### 環境についてご関心のある投資家様は どこにいるの？

当社は業界に先駆け、1999年にISO14001を取得し、環境経営を推進してきました。また、早くから、「リースは循環型産業である」との考えのもと、企業活動に取り組んできました。

私がIRに従事する中で、当社における環境に関する取組みは、投資家様に対してもアピールポイントとなるのではないかと感じていました。

しかしながら、環境という切り口にご関心をもつ投資家様にはなかなか出会うことができず、何とか、当社の取り組みを発信したい、と考えていました。

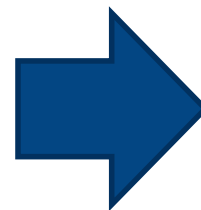
## 富国生命投資顧問株式会社

### 企業の様々な担当・部門の方の意見を 伺うことが実のある企業評価につながる

企業評価のためのリサーチにあたり、企業と面談を行います。面談にあたっては、企業のIR担当が窓口となることが多いですが、例えば規模の大きい企業は、必ずしもIR担当が企業活動の全てを把握できているとは限りません。

実のある企業リサーチのためには、日頃から、企業の多様な部門にお話を伺うことが重要だと感じていたことから、本事業を通じて、普段対話する機会が多い企業のIR担当以外の方とのコミュニケーション機会の拡大を期待し、事業に参加しました。

# アプローチ



NECキャピタルソリューション株式会社

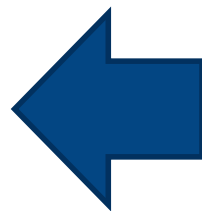
投資家との対話機会をもつにあたり、

本事業は渡りに船！

当社が注力している環境に関する取組みを多くの投資家に知ってもらべく、まずは本事業が提供する環境情報データベースに、自社の環境情報を登録しました。その後、登録情報を見ていただくべく、コミュニケーションツール上で、投資家様へのコミュニケーション希望を出しました。その中で、富国生命投資顧問株式会社の横田様よりメッセージをいただくことができました。

富国生命投資顧問株式会社

# 問い掛け



NECキャピタルソリューション株式会社

富国生命投資顧問株式会社

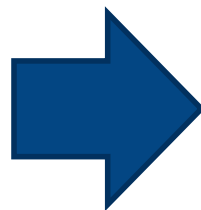
生物多様性は御社にとって  
本当に重要なのでしょうか？

環境に関する機会、リスクを読んで、業界の特性上、ほぼリスクがないのは理解しました。機会について記載は充実しており、どのような取組みがなされているのかも理解できましたが、財務上、どの程度の収益があり、今後どの程度の値を目指すのかがあると、業績予想を行う上で有益かと思えます。

生物多様性は御社にとって本当に重要なのでしょうか？記載を見る限り、この取組みが企業価値向上に資するのか疑問を感じました。事業に直結する課題のみに集中してもよいのではないかと思いました。

コミュニケーションツールにおける実際の対話内容です。

# 回答



NECキャピタルソリューション株式会社

富国生命投資顧問株式会社

## 「循環」というキーワードでリース事業との 親和性からスタート

弊社は、「リースは循環型産業である」との認識からリース事業を推進することで循環型社会の実現に貢献するものと考えております。生物多様性に関しましては、「わくわく子どもの池プロジェクト」として、小学校等へのビオトープ造成を通じた教育活動プログラムの提供、社員ボランティア派遣を行っております。ビオトープは、池なのですが、ふつうの池と違うのは、その中で生態系の「循環」を構築しているところです。（循環するように設計して造成し、適した生き物や水草を入れます）説明が長くなりましたが、「循環」というキーワードでリース事業との親和性から、当社の社会貢献活動としてスタートさせております。

コミュニケーションツールにおける実際の対話内容です。

# アドバイス



NECキャピタルソリューション株式会社

富国生命投資顧問株式会社

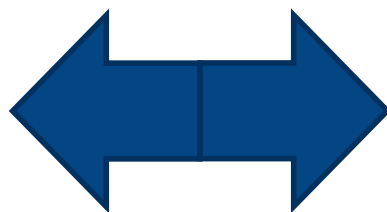
やり取りを通じて非常に興味を持ちました。

ビオトープの件、「循環」という観点で、御社の事業と根幹でつながっているというストーリーに非常に得心がきました。であれば、こうした活動を、社員の方々の環境に関する理解推進や社会貢献という、副次的なものではなく、御社の企業理念を社内に浸透させるための重要な活動として取り扱った方が、投資家にはより受け入れやすいかと思いました。残念ながら、今現在、御社は当社の投資対象ユニバース(財務アナリストが定期的に調査している銘柄群)には入っていませんが、今回、御社の統合レポートや環境報告、またこのようなやり取りを通じて非常に興味をもちました。今後、ESGに関して直接取材をさせていただくことがあろうかと思いますが、その節はご協力のほどよろしくお願いいたします。

コミュニケーションツールにおける実際の対話内容です。



# 相互理解



NECキャピタルソリューション株式会社

富国生命投資顧問株式会社

新たな報告書を、より多くの投資家に見て  
いただくために、本事業を活用します！

企業様の情報開示にあたってのアドバイス  
はもちろん、投資家側におけるESG投資への  
意識やスキル向上にも貢献したい

横田様とのコミュニケーションを通じ、当社としては社会貢献活動の導入経緯の説明が不足していたことを気づかされただけでなく、当社における社会貢献活動の意義の再定義ができ、新たな気づきが得られました。この気づきを踏まえ現在、今年度の統合報告書を全面改訂中です。具体的には、投資家様は、企業の環境に関する取組みについて、企業価値や理念との関連性を見ている、という気づきを踏まえ、ストーリーを意識して報告書をまとめています。

今年度は、多くの投資家様に見ていただくため、本事業のコミュニケーションツールで発信します！

投資対象としてある程度の企業規模のある企業様以外は、なかなか直接対話の機会をもてません。ですが、本事業を通じて、これまで対話機会のなかった企業と対話の機会を持つことができました。

企業様にとっては、投資家が企業のESG・CSR活動をどのように評価しているのか、不透明であると感じています。投資家にとっても、企業のESGパフォーマンスをどのように評価するのかまだまだスキル・意識が不足しています。本事業を通じて、両者の課題解決に貢献できればと感じています。

# 会社概要

## NECキャピタルソリューション株式会社

- 業種:リース業
- 売上高:2,157億円  
(2017年3月期)
- 時価総額:411.9億円  
(2017年8月8日現在)
- 従業員数:連結725名  
(2017年3月末現在)
- 上場市場:東京証券取引所 第一部

<http://www.necap.co.jp/>

## 富国生命投資顧問株式会社

- 受託資産残高:20,944億円  
(2017年3月末現在)
- ESG投資ポリシー:  
「最も着実に成長を期待できる企業は、社会的責任を果たすことにより、持続可能な経済の成長を推進する企業である」との考えに基づき、社会的責任を果たすことで持続可能な成長が期待でき、なおかつ市場で割安に評価されている企業に投資しています。

<http://www.fukoku-cm.co.jp/>